

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 荒川区立尾久宮前小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒116-0011

東京都荒川区西尾久1-4-17

児童生徒数：男子 99 名 女子 95 名 合計 194 名

児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

#### 4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用                       ユネスコクラブの活動として実施
- その他（宮前ブナの会・鮭の里親事業・宮前キノコ園）

〈土がない都会の学校において、栽培活動を通して食・環境・食のつながり・様々な人のつながりを学んだ。以下は主に食育にかかわる生活科・総合的な学習の時間の事例〉

- 1年生：「おおきなあれ おいしくなあれ」  
小松菜栽培→お雑煮作り（親子でクッキング）  
大根栽培 →切り干し大根作り（伝統食品の再発見）
- 2年生：「大きく育て私の野さい」  
きゅうり・ピーマン・なす・トマト栽培  
背丈の高いミニトマト栽培（採れたて完熟トマトの体験）
- 3年生：「大豆博士になろう」（食品の原料理解）  
大豆栽培 →枝豆・豆腐作り  
キノコの観察・キノコを使ったエコクッキング（東京ガス）
- 4年生：「三河島菜を復活させよう」（地域を愛する）  
三河島菜栽培→発見された地元の伝統野菜を栽培し地域を再発見  
三河島菜料理に挑戦（親子でクッキング）  
ゴーヤで緑のカーテン作り  
学んだことを伝えよう→山形県の鮭川小学校に本校の伝統野菜を説明すると同時に雪国の小学校生活をテレビ会議で交流  
ニッポンご当地レシピ参加→被災地への募金活動
- 5年生：「米たんけんをしよう」「ばんざい日本食」  
宮前味噌造り→給食や調理実習で活用  
バケツ稲作り→米作り体験  
日本食のよさを探究（世界とつながる日本食を学ぶ）  
鮭の里親事業（鮭川村と連携して飼育から放流までを体験）  
学んだことを伝えよう→山形県の鮭川小学校に本校の特色を説明すると同時に雪国の小学校生活をテレビ会議で交流
- 6年生：「日本の食文化」「見つめよう私たちと世界」  
宮前味噌造り→給食や調理実習で活用  
世界の食文化を探究（食を通して世界を理解する）
  
- 栽培委員会  
緑のカーテン（ゴーヤ栽培）  
花いっぱい運動（一人一鉢運動・学校全体で花を育てる）

○保健給食委員会

ニッポンご当地レシピ参加→被災地への募金活動

●宮前ブナの会

6月2日3日：新潟県三条市に行き、新潟県「緑の百年物語」を進めている「栄  
ブナの会」と共にブナの植林活動。今年度10年目を迎える。  
参加者：児童36名 保護者地域12名 教員6名

9月30日：ブナの植林場所の下草刈り・山林整備・芋掘り  
参加者：児童6名 保護者地域8名 教員1名  
芋はPTAふれあい祭りで全校児童に配布

●鮭の里親事業

12月21日：山形県鮭川村から鮭の卵（イクラ）が届く  
飼育用の水は近隣の銭湯から井戸水をわけてもらう。  
飼育は5年生が担当し、成長の記録を続けた。

3月23日24日：

鮭の稚魚を最上川上流で放流  
参加児童：5名 宮前ブナの会2名 教員2名  
放流だけでなく鮭川小学校と交流。今後もテレビ会議システム  
を活用しながら情報交換をする。

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。※公表しません

- 紙媒体の参考資料（新聞、出版物など）     CD-ROM     写真  
 その他（読売新聞・東京新聞の切り抜き）  
（ブナの植林体験のしおり・芋ほりツアースケジュール）  
（鮭の里親事業企画書）